

## 講話「レオロジー・クラシック」2020

**主催**：日本レオロジー学会

**協賛**：化学工学会，紙パルプ技術協会，高分子学会，色材協会，日本化学会，日本材料学会，  
日本バイオレオロジー学会，日本油化学会，日本ゴム協会，プラスチック成形加工学会（依頼中）

**日時**：2020年6月12日（金）9：45～18：30

**会場**：京都リサーチパーク西地区4号館2階 ルーム2B  
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93  
（最寄駅からのアクセス）<http://www.krp.co.jp/access/>  
（KRP内マップ）<http://www.krp.co.jp/access/map.html>

**趣旨**：レオロジーは現在の工業技術において不可欠の概念であるが，一方で初心者には取っ付きにくいと言われている。しかし学び方によるとそうではない。この講話においてはレオロジーの研究・教育のベテラン（レオ老人と自称している）が面白くて役立つこの分野を易しく紹介する。

**プログラム**：

\*受付は9：30～開始いたします。

9：45～11：15

**第1話 レオロジーとは** 京都大学大学院工学研究科 瀧川敏算  
「レオロジー早分かり」を聞いて「そうか」と思っていた。代表的なレオロジーの現象を紹介し，分野の広さとその重要性を認識してもらおう。レオロジーの勉強法を知っていただく。

11：15～11：30 休憩

11：30～12：30

**第2話 レオロジー入門 Part I** 京都工芸繊維大学名誉教授 高橋雅興  
「レオロジー」に入門する。ひずみ，応力，弾性率，粘度，粘弾性，緩和時間など基本的な用語を覚えていただく。この学問分野の「真髄」をやさしく説明することにより，自分なりの「レオロジー像」を獲得していただく。

12：30～14：00 昼休憩

14：00～15：00

**第2話 レオロジー入門 Part II** 京都工芸繊維大学名誉教授 高橋雅興  
高分子，食品，化粧品，塗料，スラリーの具体例について，測定データの見方・考え方をやさしく説明し，面白くて役立つレオロジーを味わっていただく。

15：00～15：15 休憩

15：15～16：45

**第3話 高分子レオロジークラシック** 東京大学名誉教授 土井正男  
ゴムやゲルなど，高分子を含む物質は，なぜ特異なレオロジー的な振る舞いを示すのか，それらが分子の構造とどのように関係しているのかについて高分子科学の立場から説明する。

17：00～18：30

**第4話 余談（懇談・懇親会）** 京都リサーチパーク東地区1号館 1階レストラン PATIO  
軽い食べ物と飲み物をとりながら講師（レオ老人）と懇談すると，さらに理解が進むかもしれない。

**参加費（税込）**：会員（協賛学協会会員含む）33,000円，一般 44,000円，学生 11,000円  
\*参加費には講話資料，懇親会，書籍「講座・レオロジー」（お土産）が含まれます。

**昼食弁当（税込）**：1個 1,100円（お茶付）

\*ご予約は，6月1日（月）までにお済ませください。

**申込締切**：2020年6月1日（月）

**定員**：30名 \*定員に達し次第締め切ります。

**申込方法**：本学会HPの申込フォームからお申込み下さい。不可の場合は，申込書（HPからもダウンロード可）

